

休館日、イベント情報

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20祝	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29祝	30			

CHECK

○蔵書点検のため休館します。

3/21(金)～31(月)

お電話でのお問い合わせも

お受けできませんのでご注意ください。

田川市立図書館

〒825-0016 田川市新町11-61

TEL/FAX ☎ 0947-44-0384

開館時間 ☎ 火～金 9:30～20:00

土日祝 9:30～18:00

E-mail ☎ info@tagawa-biblio.jp

田川市立図書館公式



Instagram
はじめました！



TAGAWA_PUBLIC_LIBRARY



レコードコンサート

3/20(木) 14:00～

4/17(木) 14:00～

☆要申込（2階 視聴覚室）300円



★ 除籍図書リサイクル

除籍となった図書館の本を、無料でお持ち帰りいただけます！



3/4(火)～3/9(日)

☆おひとり15冊まで

2階 視聴覚室・入退場自由

第4回 市民公開講座

講師 中野 直毅氏（田川郷土研究会 会長）

「猪位金地区の歴史的特徴」

3/29(土)13:30～

（いいかねパレット） 無料



詳しい情報は
ポスターやチラシ、
図書館ホームページ
をご覧ください

HP



最新情報は
こちら

<https://tagawa-biblio.jp>

ホームページでは、図書館だよりを

カラーでご覧いただけます。

ぜひ一度、覗いてみて下さいね！

図書館だより

2025年3月号／No.113

田川市立図書館

2024年 一番読まれた本は？

2024年に、田川市立図書館で貸出しの多かった【日本の小説】ベスト10を発表！

1位は、2024年の本屋大賞を受賞した『成瀬は天下を取りに行く』。続編も5位に入っています。東野圭吾さんは4つの作品がランクイン。不動の人気のうかがえます。



『成瀬は天下を取りに行く』

宮島 未奈/著 新潮社



『透明な螺旋』

東野 圭吾/著 文藝春秋



『こちら空港警察』

中山 七里/著 KADOKAWA



『ラプラスの魔女』

東野 圭吾/著 KADOKAWA



『守護者の傷』

堂場 瞬一/著 KADOKAWA

『成瀬は信じた道をいく』 宮島 未奈/著

新潮社



『夏空』

今野 敏/著 角川春樹事務所



『クスノキの女神』

東野 圭吾/著 実業之日本社

『コンビニ人間』

村田 沙耶香/著 文藝春秋

『ブラック・ショーマンと覚醒する女たち』

東野 圭吾/著 光文社

『碧空の音』

あさの あつこ/著 中央公論新社



CHECK

貸出中の場合は
予約が出来ます。
お気軽にスタッフ
まで。

絵本の貸出ベスト1位は

『パンどろぼう v s にせパンどろぼう』

柴田 ケイ子/作（KADOKAWA）でした！

シリーズ6作品全て所蔵しています。

未読の方は、一度手に取ってみてください♪



パンどろぼうの
パン作りの
本もあるよ！

#スタッフ作
マスコット

今月のおはなし会

おはなし会は、申し込み不要です。
ご参加お待ちしております♪

幼児・小学生向け 3/ 1(土)、8(土)、15(土)

第2・4土曜／あしたばの会

第3・5土曜／たがたんクラブ



🕒 14:00 ~



赤ちゃん・乳幼児向け 3/ 14(金)

第2・4金曜／子どもの文化研究会

🕒 11:00 ~

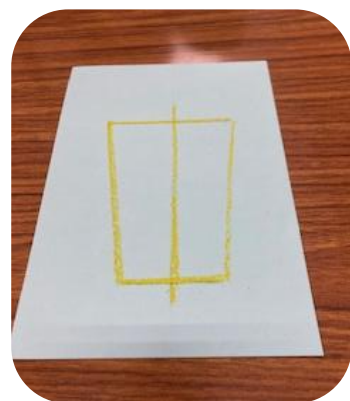
Challenge しました 第106回

今月は、クレパスでお絵描きに挑戦しました。子どもの頃に、一度は使ったことのあるクレパス。基本の16色を使うだけで、とても楽しくイラストを描くことが出来ました！

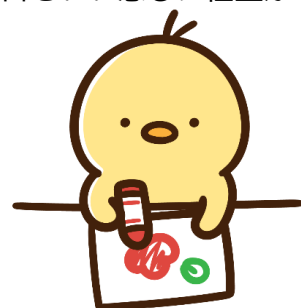
描いたのは、ちょっと懐かしいクリームソーダ。

クレパスで描くので、色の重なり具合もいい感じに仕上がります。

図書館にある本を使って
わたしたち司書が
いろいろなことに挑戦！

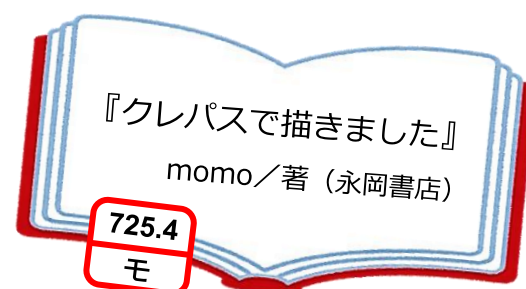
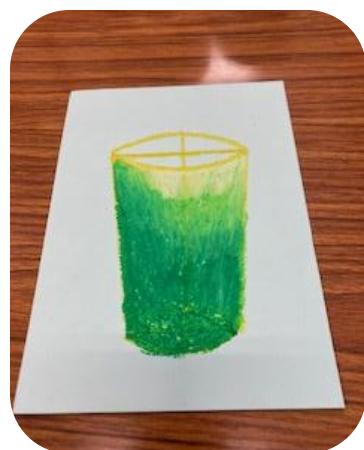


見本のイラストは実物大。
描き方の手順に沿って
色を重ねていきます。



#クリームソーダ

#次は何を描こうかな



理科読講座、開催しました

2月2日(日)に、福岡「子どもの読書」関連団体連絡協議会主催の理科読講座、「水の不思議を発見しよう！」を開催しました。

【理科読】とは、本を通して科学に親しもう、という活動で、今回は「水」をテーマに、3冊の本の読み聞かせと、関連した様々な実験を体験してもらいました！



講師には、東京からNPO法人ガリレオ工房の土井美香子先生をお招きしました。

今回読んだ本は、こちらの3冊。

『みずたまのたび』 アンヌ・クロザ／作
『あめだからあえる』

かがくのとも 1998年6月号

『みずとはなんじゃ?』 かこさとし／作
身近に、当たり前にある「水」。

その性質や循環について、
深く知るきっかけに
なるような絵本です。
ぜひ読んでみて下さい。



「水」の性質を
体感できる
色々な実験を
行いました！

四角く切ったセロファンを手のひらに乗せると、なぜかクルッと丸まります。これは、手のひらから蒸発したわずかな水分をセロファンが吸収して伸びるため。



「楽しかった！」との声がとても多かったマールリング。専用の絵の具を水に浮かべて爪楊枝で動きを出し、綺麗な模様を紙に写し取りました。

水の表面張力を利用した、楽しい実験&創作でした。